

(昭和33年9月10日第3種郵便物認可)

1部 6円

発行所
五所川原市役所
337号
昭和49年10月1日
印刷 陸奥印刷KK



広報

ごよがわら



市制施行20周年記念特集号

みんなで築いた五所川原の20年



式辞を述べる佐々木市長（中央）

市の市制施行二十周年記念式典は、十月一日午前十時から市民文化会館に来賓と市勢の発展に尽した功績者ら約千人が出席して開かれ市の発展を祝し、今後の躍進を誓いあいました。佐々木市長は式辞のなかで「過去二十年間、社会経済の激動期にありながら着実に成長を続けてきた。今後とも市民総参加で、無限の未来を開き、当面は緑の都市づくりをすすめ住みよい郷土づくりをしたい」と述べました。また、市民を代表し秋田長兵衛議長が「二十周年を契機に決意を新たにしたい」とあいさつ、このあと市勢の発展に尽した二百六十四の個人、団体に顕彰状と記念品を贈り、功績をたたえました。続いて乗富副知事（知事代理）をはじめ、田沢吉郎代議士、秋田正稟議（県議会議長代理）、中村亮三和市長（県市長会会長）らが祝辞を述べ、祝電を披露し、受賞者を代表して阿部徹氏の謝辞があり、最後に出席者全員が市民歌「世紀の花を咲かそうよ」を合唱し、式典を閉じました。このあと、航空自衛隊第一航空団（浜松）のブルーインパルスが飛来、ジェット機五機による華麗な航空ショーを展開し、式典に花を添えました。

五所川原市制二十周年を迎え、当時を思うと、まことに感慨のつきないものがあります。いまや人口五万一千余人、この二十年の歴史のなかで名実ともに西北地方の中核都市として着実に成長を続けて参りました。これもまた今日の基礎を築いてきた幾多先人のご芳苦の賜と五万市民の皆様とともに心から感謝の意を捧げたいと存じます。期間はまさに社会経済の激動期でありました。工業を中心とした高度経済成長は国民生活水準を引上げ農山村をすべからず都市化するという現象をもたらしました。

豊かな郷土の創造を



市長 佐々木 繁造

しかし反面、その歪みも顕在化し米の生産調整による米作農業の危機と出稼ぎの激増、公害の多発と石油ショックによる物価高騰を招き、ついには総需要抑制へと続き経済優先ストップの時代を迎えるに至りました。年の大計を樹立するものがあります。私も微力ながらこの大計を推進することによって生きがえのある、豊かな郷土の創造に精進する覚悟でありますので、倍旧のご協力をお願い申しあげ次第であります。

早くも、市制施行から二十年を迎えました。顧みますと、ここ二十年、市民各位の英知の結果と関係各方面のご懇切なるご指導により、幾多の試練を乗り越え、今日、西、北津軽の拠点都市として大きく成長し市民に限りない未来を抱せる逞しい姿に発展いたしました。

決意を新たに

に当面しております。さらに地域開発の動向は大都市中心から地方都市主導型に移行しており、加えて、東北新幹線、東北縦貫自動車道等、高速交通時代は、そのテンポを一層早めるものと存じます。市勢は、まことに重要な転換期に際合し



市長 秋田 長兵衛

五万市民とともに心から市制二十年の栄光と喜びを

市政20年の地歩

市制施行以来20年。わが国の社会経済は大きな変貌を遂げたが、五所川原市もまた大きな前進を遂げた。久方振りに訪れる人々は一様に「五所川原は変わった」と、日進月歩の躍進ぶりに驚きの目を見張る。

20年の時流のなかで、5万市民のたゆまぬ努力がこんにちの五所川原を築きあげたのである。これからまた、草創時代の開拓精神を遺憾なく発揮し、着実な歩みを続けてゆくであろうことを疑わない。

市民生活の安定

昭和32年開催の平和産業博覧会跡地は、300余戸の住宅団地にみごとな変身を見せた。核家族の台頭、職住の分離、市街地人口増加などによる宅地化スプロール対策はその後も続けられ、湊、松島、新宮団地、駅東部区画整理事業、広田団地の着手等、県下随一の住宅対策がなされ、将来への基礎づくりが果たされてきた。

一方、環境、保健衛生施設としては、し尿ゴミ処理場の建設、西北中央病院の新築、老人児童対策としては老人ホーム、老人憩いの家児童館の建設、遊園地の整備、身障者対策としては森の家の建設がなされ、消防力の充実とともに安らかな市民生活の確保がはかられてきた。

産業経済の振興

① 農 業

農業の振興策は、新農村建設、積寒事業、構造改善事業へと引継がれてきた。これによって飯詰、中川、松島地区あわせて750haの区画整理が完成、スピードプレーヤー、トラクター、コンバインなどの経営近代化施設も入り、近代化農業の夜明けが迎えられた。

39年度からは災害復旧事業、共同炊事、花粉センター、りんごの品種更新ときめ細かな施策が進められ、現在は第2次農免道路事業ならびに大規模農道事業、全地域の圃場整備事業が着々進められており、高生産性農業の確立もそれほど先のことではない。昨年完成の広域新農業センターは、今後の農業経営に大いに役立つことが期待されている。

② 商 業

国道の拡巾、都市計画街路の整備、アーケードの建設等によって商店街の様相は一新された。この間デパート、スーパーなどの出現も著しく、年間販売額は33年の35億円か

ら47年には424億円となり、名目額であるにしろ実に12倍強の伸びをみせた。また1店当り販売額においても弘前、八戸の両市をしのぎ、青森市について第2位となっている。まさに西北地方中心都市の面目躍如たるものがある。

③ 工 業

これまで北越ヒューム管、森羽紙業、津軽東芝、日立入間の各工場を誘致してきたが、明50年度からは、青森県の農村工業導入の拠点として約50haの工業団地造成を計画中である。これまで他市に比較して不振の感を免がれなかった工業であったが、これを契機にして出稼ぎの解消、学卒労働力の地元定着など雇用機会の増大がはかれるとともに、農家経済の安定に寄与できるものと期待される。

教育文化の向上

義務教育施設としては、松島、沖飯詰、一野坪、梅泉、南、東、中央の各小学校、第一第二中学校等の新築、新設がなされ、学校給食センターは全校を対象に建設された。

社会教育、保健体育施設としては、市民文化会館、中央公民館、三道会館、国連青少年の家、郷土館、勤労青少年体育センターの開設および建設、少年自然の家の誘致等があげられる。

また、総合高等職業訓練校の誘致、高等看護学院の新築があり、県立3高校の新設、新築などもあわせて学園都市としての地歩が着々と築かれている。

都市施設の充実

市内の道路は、国、県、市道あわせて延長約325kmにおよぶが、うち舗装済29.1%。改良済31.9%の進捗率である。国、県道については、乾橋、三好橋の架替、市街地の拡巾、バイパス、陸橋、歩道橋の建設など交通の要衝として整備され、市道は道路愛護運動の成果が顕著にあらわれつつある。

飯詰川多目的ダムの建設は流域を水害の被災から救い、松野木川、旧十川の改修も進められている。上水道第3次拡張事業は、七和長橋地区を除く全地区に及び、4万人への給水を可能にした。

駅東部区画整理事業は第1期40haを完成第2期工事に着手される。津軽フラワーセンターは名所の一つに数えられ、運動公園、墓地公園も計画されている。

図表による20年の推移

人口・世帯数

(資料：住民基本台帳 外国人を除く)

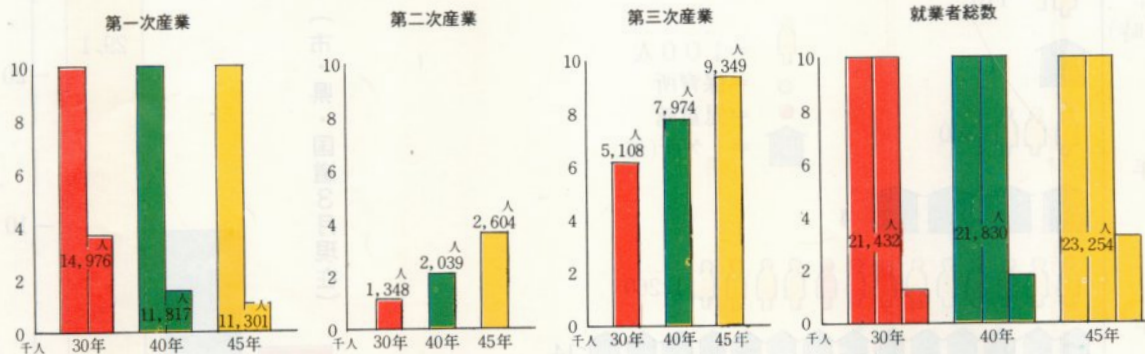
年次	世帯数	人口			摘要
		総数	男	女	
29	6,295	36,504	18,206	18,298	S29.10.1現在
39	10,918	50,178	24,223	25,955	S39.10.1現在
49	13,735	51,863	25,064	26,799	S49.9.1現在

男女別5才階級別人口

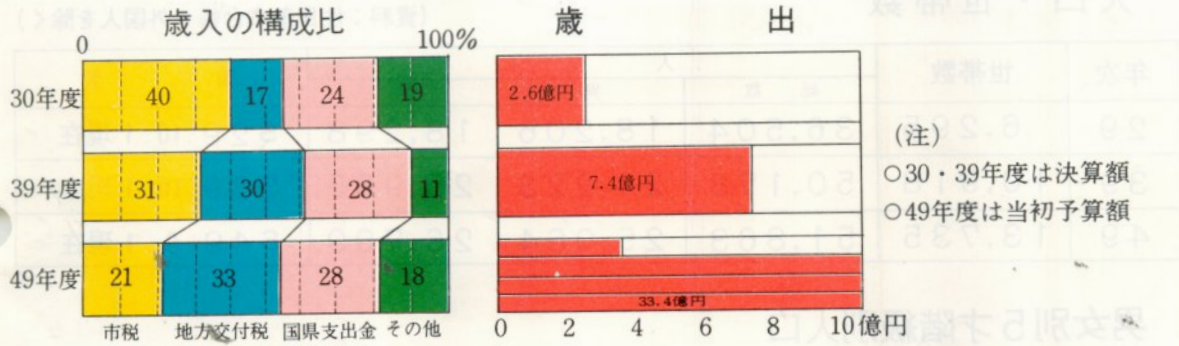


産業分類別就業者数 (15才以上)

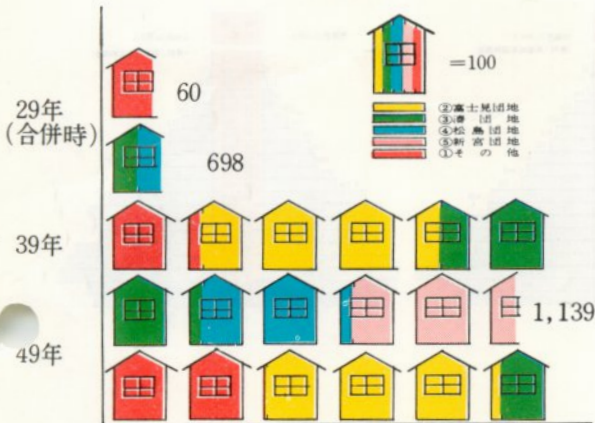
(資料：国勢調査)



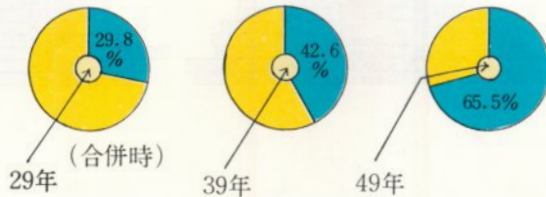
財政規模（一般会計）



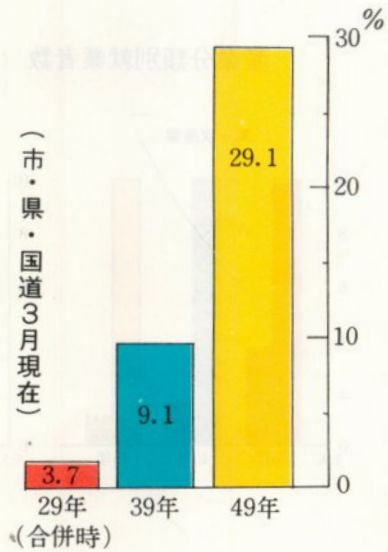
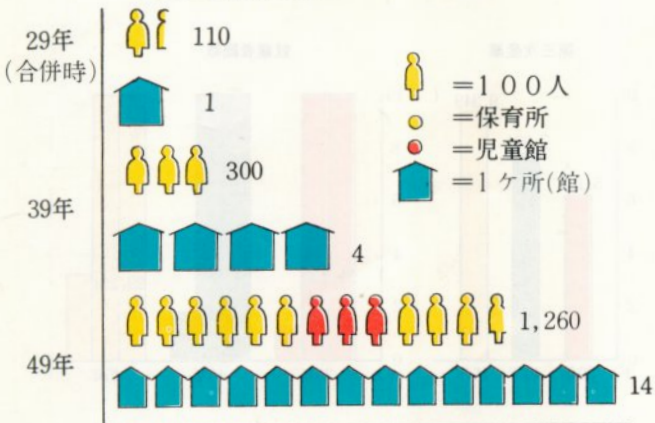
市営住宅戸数 (3月末現在)



上水道の普及率



保育所・児童館の設置数と 児童収容数 (3月末現在)



市政20年のあゆみ

一年 表一

〔昭和29年〕

- 10. 1 五所川原町と栄村、中川村、三好村、長橋村、松島村、飯詰村の1町6村合併し市制施行。市長職務執行者山内久三郎（人口36,504人、世帯数 6,295）
- 1 五所川原町、栄村、中川村、三好村、長橋村、松島村、飯詰村の各教育委員会合併し「五所川原市教育委員会」発足。



市制施行合併記念アーチ



旭町にあった旧市庁舎（現五所川原郵便局舎建設現場）

- 14 初議会招集し初代議長に長尾角左衛門副議長に飛島浩三選出。
- 11. 18 第1回市長選。外崎千代吉当選。
- 20 「五所川原市広報」創刊号発行。
- 12. 10 建設省計画局、新市建設構想に伴う現地調査実施。
- 17 市立飯詰小学校火災。
- 24 昭和29年10月1日から12月31日までの暫定予算吸収し、新たに市議会へ暫定予算（昭和29年10月1日から昭和30年3月31日まで）158,812,407円提出。

〔昭和30年〕

- 3. 1 北津軽郡嘉瀬村大字毘沙門区域編入。

- 4. 21 五所川原商工会議所新庁舎起工式。
- 6. 13 市立飯詰小学校落成。



市に毘沙門編入。地元でおこなわれた合併式典

- 7. 1 五所川原市章制定。
- 17~19 市制施行祝賀記念祭行なわれる。「全国都市展示会」も開催。

〔昭和31年〕

- 1. 11 庶民の金融機関として「市営公益質屋」を開設。
- 3. 30 「五所川原防犯協会」誕生。会長に外崎市長を選出。
- 5. 19 五所川原商工会議所で「第1回店員学校」開講。
- 7. 10 建設省地理調査所市街地の用水堰の統廃合をはかるため測量実施。
- 9. 10 北津軽郡金木町大字長富区域編入。
- 22 自治省はこじれる梅田、中泉分村問題解決のため、外崎市長、渋谷鶴田町長県関係者を自治省に招き懇談会開く。
- 30 北津軽郡七和村（下石川除き）編入
- 10. 10 三和精一前代議士を立合人とし県庁で鶴田町大字梅田、大字中泉の分村合併に関する話が外崎市長、渋谷鶴田町長、横山副知事ら関係者が集まり行なわれ、学校問題など9項目にわたる合併協定事項に意見が一致しこの問題の円満解決をみた。



いまでも語り草になっている梅田、中泉合併紛争

- 11. 1 北津軽郡鶴田町大字梅田、大字中泉区域編入。
- 12. 26 「五所川原平和産業大博覧会」宣伝のため「りんご娘、くりだす」。



平和博、宣伝のためりんご娘上京
当時の石橋灌山首相を囲んで

- 27 市制施行に伴ない従来の都市計画区域を拡大。

〔昭和32年〕

- 2. 24 長尾角左衛門氏「三好村史」刊行。
- 5. 31 五所川原市上水道第1次拡張工事竣工。
- 7. 1 「五所川原市農業委員会」発足。
- 7. 21 「五所川原平和産業大博覧会」開催。
世界20余か国が参加し期間中の入場人員は42万人を越す。

52日間
にわたる
平和博
のフタあけ



会期中の入場は
42万人を越す



- 11. 13 私鉄津軽鉄道飯詰駅舎完成。
- 12. 2 健康都市目指し「保健衛生協力委員会」組織され、各界代表200名を委員に委嘱。

〔昭和33年〕

- 2. 1 「五所川原市平和産業大博覧会」跡地に

に公営住宅112戸建設し入居開始。

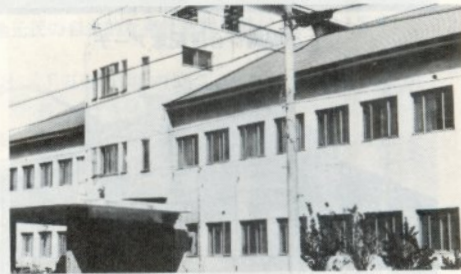


2万坪平和博跡地は学校、住宅用地に
利用されました

- 3. 4 五所川原電報電話局新庁舎落成。
- 4. 1 西津軽郡木造町大字小曲区域編入。
- 7. 25 「津軽環状線建設促進同盟会」結成。
- 8. 14 国民健康保険法施行20周年記念行事の一環として五所川原小学校校庭で市民体操祭開く。
- 9. 8 国民健康保険法施行20周年を記念し「保健家庭」を表彰。
- 11. 8 第2回市長選。山内久三郎当選。

〔昭和34年〕

- 4. 20 北地方教育会館落成。
- 5. 1 「五所川原平和産業大博覧会」開催により生じた赤字解消のため自治省より「地方財政再建準用団体」の指定を受ける。
- 6. 1 「青森県厚生農業協同組合連合会西北病院」を買収。



旧西北中央病院正面玄関

- 10. 22 新乾橋架替工事起工式。
- 12. 20 柳町児童公園完成。

〔昭和35年〕

- 3. 1 五所川原市外人登録事務成績優秀のため法務大臣賞受賞。
- 15 「母子家庭中学校卒業生激励会」開催。
- 4. 1 市立五所川原南小学校落成。



平和博跡地に建設された南小学校

- 6. 2 村上建設大臣。新乾橋架替工事視察。
- 8. 17 NHK夏期巡回ラジオ体操約2,000人が参加し五所川原小学校校庭で行なう。
- 9. 24 市立西北中央病院敷島分院精神病棟起工式。
- 11. 30 「五所川原平和産業大博覧会」跡地に市営住宅87戸建設。

〔昭和36年〕

- 1. 24 「県立五所川原工業高校誘致期成同盟会」結成。
- 3. 1 小曲集会所完成。
- 4. 1 市立松島小学校（金山小、水野尾小、



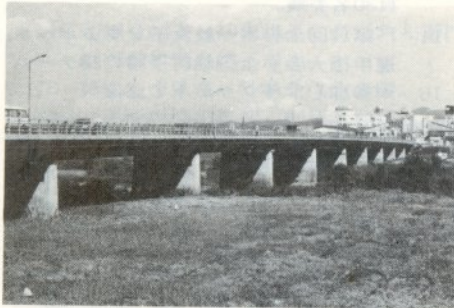
三校統合で建設された松島小学校

松島小の三校統合）落成。

- 5. 12 市立西北中央病院看護婦寮落成。
- 6. 1 市立西北中央病院敷島分院精神病棟完成。
- 7. 20 「新五所川原小唄」完成し一般に公開される。
- 9. 6 市立田川小学校創立80周年記念式典。
- 13 「北五地方教育総合研究大会」開催。
- 20 市立五所川原小学校新築落成。
- 11. 3 五所川原市、五所川原市文化振興会議の共催で「第1回五所川原市総合文化祭」開催。
- 20 都市ガス供給される。（県内5番目）

〔昭和37年〕

- 1. 8 湊団地に市営住宅100戸完成し入居者抽選会。
- 2. 13 市立羽野木沢小学校火災
- 18 「交通事故防止防犯市民大会」開催。
- 7. 4 新乾橋（延長346m、幅員8m）竣工。



完成した新乾橋

- 9 「県立五所川原工業高校」起工式。
- 8. 5 「第1回野外音楽会西北五大会」北斗グラウンドで行なう。
- 10. 15 西北五衛生処理組合し尿処理場起工式。
- 18 第3回市長選。佐々木榮造当選。
- 29 五所川原市民文化会館起工式。

〔昭和38年〕

- 4. 1 「五所川原市工場設置奨励条例」制定。
- 10 県立五所川原工業高校（鈴木太左衛門校長）開校式。
- 5. 17 天皇・皇后両陛下のご来県を記念し、湊団地と柳町児童公園で記念植樹行なう。
- 19 日本体操祭五所川原大会、小・中・高の児童生徒約3,600名参加し北斗グラウンドで行なう。



体操祭、北斗グラウンドで開かれる

- 6. 13 県立五所川原農林高校生徒により「中山ハイライン」開発調査。
- 10. 10 「津軽半島縦貫産業開発道路建設促進期成同盟会」設立総会。
- 11. 1 養護老人ホーム「くるみ園」着工。

〔昭和39年〕

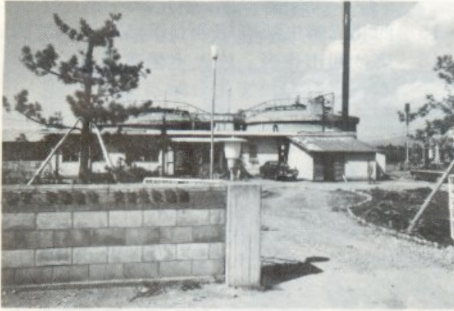
- 4. 1 市民文化会館開館（鉄筋コンクリート2階建、大ホール固定席900）
- 1 ひまわり児童館開館（市内下平井町）

市民文化センターとして開館



市内初のひまわり児童館

- 28 西北五衛生処理組合し尿処理場（処理量1日72kℓ）完成。



高瀬衛生センター

- 29 長尾角左衛門氏、前田顕三氏戦後第1回生存者叙勲うける。
5. 20 養護老人ホーム「くるみ園」落成。



現在50人のおとしよりが入所しています

- 25 五所川原公共職業安定所落成。
6. 19 青森市油川～五所川原市飯詰間（県道29.3km）開通。
20 故三和精一氏（元衆議院議員）市民葬。
8. 3 市民文化会館で市制施行10周年記念式典行なわれ、故三和精一、故和田山蘭長尾角左衛門、前田顕三の各氏に特別功労賞おくる。
4 津軽華子さん北斗グラウンドで「虫送り」見学。



佐々木市長の説明をおききになる華子さん

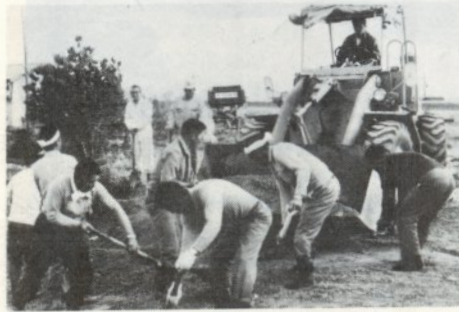
- 18 津軽半島縦貫産業開発道路期同盟会と県、営林局合同で「津軽半島縦貫産業開発道路」予定路線踏査実施。
9. 28 中野桂樹作の母子像大町交差点（ロー

タリー）から柳町児童公園へ移転。

10. 8 岩木川原を中心に県防災訓練実施。
30 米づくり青森県一の関実正氏の米、天皇陛下に献上される。
11. 1 西北五初の百貨店市内本町にオープン。
12. 2 高山英華東大教授を主査とし「五所川原市基本構想」まとめる。

〔昭和40年〕

4. 1 「五所川原市青少年室」開設。
1 つつじが丘児童館開館。(市内神山)
1 市立五所川原第一中学校発足。
2 強風下市内長橋字橋元より出火12棟全半焼。
8 国鉄五所川原駅渡線橋完成。(延長16.6m)
9 市立西北中央病院新築工事着工。
16 市役所内に青森銀行派出所開設。
21 市内七ツ館地区を皮切りに道路愛護運動スタート。



地元民の自主的な奉仕活動で続けられています

- 28 「五所川原市防災会議」(会長佐々木市長)できる。
5. 12 松島団地起工式（総事業費4億5千万円、建設予定住宅900戸）
29 市立西北中央病院医師住宅4棟落成。
6. 11 陸上自衛隊第9師団第5連隊レンジャー部隊「津軽半島縦貫産業開発道路」踏査。
14 市民文化会館で「市農業教室」開講。
9. 1 市消防署、強風下の火災（市内長橋字橋元）を最少限にいとめたことに対し内閣総理大臣賞うける。
8 「五所川原総合開発審議会」設置、委員30名委嘱。
14 「第17回全日本一般女子ソフトボール選手権大会」全国地区優勝の18チームが参加し北斗グラウンドで開催。

行進する選手役員団



- 10. 21 私立五所川原商業高校（下山弘理事長）落成。
- 11. 13 「第1回県演劇祭」市民文化会館で開催。
- 12. 25 長尾角左衛門氏「岩木川物語」刊行。

〔昭和41年〕

- 1. 13 「あかるく住みよい市建設、をスローガンに市内各地区で第1回行政懇談会開催。
- 20 開催。
- 31 長橋支所竣工。
- 3. 17 都市計画区域および準防火区域の決定。
- 4. 1 かいどう児童館開館（市内金山）
- 1 市立高等看護学院開設。
- 5. 2 無形文化財である郷土芸能の獅子舞を保存し、後継者を育てようと浅井獅子舞保存会（一戸則雄会長）結成。



無形文化財浅井の獅子舞

- 6. 8 「大町商店街アーケード協議会」発足。
- 7. 15 市立五所川原小学校プール開き。



初泳ぎではしゃぐ子供たち

- 23 「第7回赤十字社員大会」日本赤十字社名誉副総裁高松宮妃殿下をお迎えし開催。
- 8. 1 「全国高等学校総合体育大会ソフトボール選手権」北斗グラウンドで開催。



試合風景

- 20~21 「第15回青森県青年大会」当市で開催。
- 9. 2 七和支所竣工。
- 10. 4 五所川原駅東部に松島住宅団地竣工。



市内初の終末処理施設を完備

- 18 杉の子児童館開館（市内羽野木沢）
- 10. 20 第4回市長選。佐々木榮造当選。
- 12. 1 福祉会館開館（市内下平井町）

〔昭和42年〕

- 3. 4 飯詰ダム建設着工。
- 4. 1 五所川原市上水道第2次拡張工事着工。
- 1 国民健康保険被保険者乳児10割給付実施。
- 5. 強風下寺町のマーケットより火災発生。寺町、川端町などで24棟焼失。



焼け跡の復旧作業

- 5. 14 県立五所川原農林高校、県下高等学校相撲大会春季大会で優勝。
- 23 市は文通事故防止のため市立五所川原小学校、市立南小学校、市立五所川原第一中学校の生徒児童に腕章おくる。
- 30 五所川原ボーイスカウト発団式。
- 6. 29 市立西北中央病院総合病院として認可うける。
- 7. 10 西北五消防団連合機動演習、松島町の大火を想定し市内一円で実施。
- 10. 2 市内9農協合併し県内2番目の大規模農協として「五所川原市農業協同組合」発足。初代組合長に開米佐太郎氏。
- 15 八木隆一郎詩碑除幕式。

八木隆一郎の碑



- 15 梅泉児童館（市内梅田）毘沙門児童館（市内毘沙門）完成。
- 25 毘沙門支所竣工。
- 28 台風により西北五地方で家屋、りんごなどに5億円の被害。

〔昭和43年〕

- 2. 26 市民約1,000人が参加し「市民歩こう大会」開催。
- 3. 12 北越ヒューム管五所川原工場の誘致決定。
- 31 西北五の基幹医療センターとして「五所川原市立西北中央病院」落成

市立西北中央病院



- 4. 1 県内8市共同で「交通災害共済組合」発足。
- 1 国土調査市内小曲、鎌谷地区より開始。
- 1 五所川原市上水道第3次拡張工事起工。
- 18 NHKの人気番組「ふるさとの歌まつり」県立五所川原工業高校より全国へ実況中継放送。
- 19 市立学校給食センター起工式。
- 7. 23 第1回青年団、婦人会合同の体育大会開催。
- 8. 3 社会開発青年奉仕隊（通称国内平和部～30隊）中山山脈に「青年の道」建設。

- 8. 10 局地的集中豪雨により家屋、りんごなどに1億3千万円の被害。災害救助法発動し市防災会議招集。
- 12 発動し市防災会議招集。
- 9. 3 「市立学校給食センター」落成。



8,350人の児童生徒に給食されています



青年の道入口で

- 10. 23 明治百年記念事業の一環として「県民の森」建設に着手。
- 12. 1 長尾角左衛門氏岩木川治水に尽した功績により第21回東奥賞受賞。

〔昭和44年〕

- 3. 30 第5回市長選。佐々木榮造当選。
- 4. 6 旧五所川原第一中学校校舎に市役所全課移転。
- 27 「津軽フラワーセンター」中央幹線道路完成。



- 5. 2 「市出稼ぎ対策室」開設。
- 9 新市庁舎建設の地質調査終了。
- 12 駅東部地区土地区画整理事業に着手。
- 30 農免道路飯詰 - 吹畑間 (延長 3.600 m) 完成。
- 6. 1 個人の市民税減税実施。所得割の税率 (制限税率) を標準税率の 1.5 倍から 1.4 倍に減税。
- 3 二代目五所川原市長山内久三郎氏逝去。
- 7. 5 初の県外誘致企業北越ヒューム管五所川原工場 (本社新潟県直江津市) 落成。
- 19 企業誘致第 2 号として柳中道オーデオの誘致決定。
- 8. 3 柔道、弓道、剣道の三道会館落成。



三 道 会 館

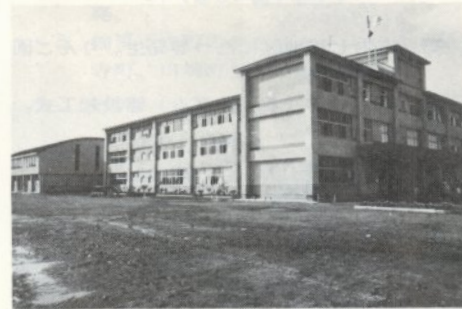
- 9 出稼ぎによるトラブルの一掃目指し「五所川原市出稼協会」結成。
- 8. 13 佐々木市長「日本青少年代表団」の団長としてオーストリア訪問。
- 9. 14 長としてオーストリア訪問。
- 8. 23 交通安全移動教室車「まつした号」おられる。
- 10. 1 「五所川原市児童手当制度」制定。
- 13 国立総合高等職業訓練校起工式。
- 17 岩木川改修50周年記念式典行なう。
- 11. 1 松ヶ丘児童館 (市内松野木)、あじさい児童館 (市内七ツ館) 開館。
- 2 西北五衛生処理組合ごみ焼却炉完成。
- 3 五所川原市民の歌「世紀の花を咲そよよ」制作発表。
- 12. 12 「第1回りんごジュースの集い」開く。



第 1 回りんごジュースの集い

〔昭和45年〕

- 2. 2 「西北五広域行政推進協議会」発足。会長に佐々木五所川原市長選任。
- 4. 1 市立五所川原東小学校 (前田野目小、高野小の統合) 開校。
- 1 五所川原地区消防事務組合 (五所川原市、鶴田町 1 市 1 町) 発足。
- 1 「五所川原市長寿褒彰金支給制度」制定。
- 1 市立五所川原中央小学校発足。



ことばの教室増築中です

- 12 片山浩一君 (県立五所川原農林高校 2 年、市内田町) 第 10 回アジア卓球選手権大会ジュニア部門で第 3 位入賞。
- 14 五所川原税務署落成。
- 15 国立総合高等職業訓練校開校。
- 16 五所川原共同高等職業訓練校落成。
- 5. 2 「第 21 回県植樹祭」津軽フラワーセンターで行なう。
- 6 屈折式梯子付新鋭消防車購入「大竜号」と命名。



「大 竜 号」

6. 1 個人の市民税減税実施。所得割の税率（制限税率）を標準税率の1.4倍から1.2倍に減税。
- 2 旧五所川原第一中学校跡地で市庁舎起工式。
7. 18 西北五地域広域市町村圏、自治省より圏域設定を受ける。
- 30 新宮団地着工。
8. 2 北奥羽大会決勝で県立五所川原農林高校、黒沢尻工業高校（岩手県代表）を破り甲子園へ初出場。



いざ甲子園へ五農ナイン

8. 25 市内七和地区にたつ巻発生。りんご園に大打撃。
9. 12 飯詰ダム（多目的ダム）建設起工式。

〔昭和46年〕

1. 10 「米生産調整対策室」開設。
4. 23 環境パトロール班、道路交通班、消防防災パトロール班、連絡班の4班からなる「生活環境パトロール」実施。
5. 2 「おはようサイクリング」始まる。初回は芦野公園まで走破。



ペタルも軽くさわやかに

6. 1 個人の市民税減税実施、所得割の税率（制限税率）を標準税率の1.2倍から標準税率に減税。
- 18 三好橋（延長313m）竣工。
7. 10 岩木川原で「西北五地区消防操法競技大会」実施。
- 27 中山山脈70kmを縦走する「津軽半島産業開発道路」の予定ルート踏査開始。
8. 1 静止する行政から行動する行政を目指し「あなたの教室」開設。



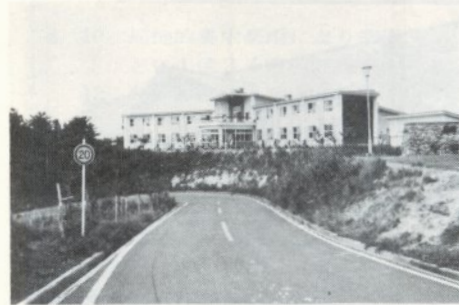
『三好橋』

8. 1 森羽紙業（ダンボール箱等製造）操業開始。
- 4 郷土ゆかりの歌謡作曲家、上原げんと音楽碑除幕式。



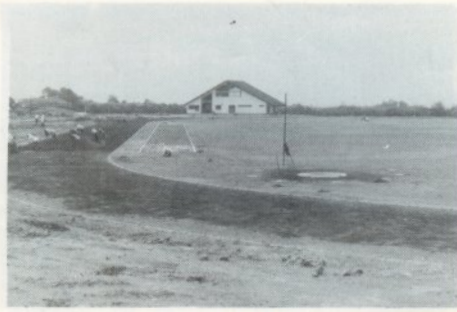
げんと碑

- 6 「青森県少年自然の家」開所式。



少年自然の家

- 14～ 16 「第1回青森県子ども大会」新装なった「青森県少年自然の家」で開催。
- 21～ 22 「第20回県青年大会」市内10会場で開催。
- 25 「雇用促進事業団五所川原勤労青少年体育センター」落成式。
9. 15 市役所新庁舎（鉄筋コンクリート地下1階、地上5階、総工費約6億円）完成。外崎初代市長ら市民約300人を特別招待し一般公開。
- 22 市役所各課新庁舎へ移転作業終了。
10. 22 「小田川土地改良区」設立。
11. 29 本町商店街、アーケード建設に着手。



勤労青少年体育センター

〔昭和47年〕

2. 1 耳で聞く広報「市政ダイヤル」スタート。
4. 1 「五所川原市災害遺児援護制度」制定。
- 1 国民健康保険被保険者75歳以上老令者10割給付実施。
- 1 固定資産税税率1.8/100から1.7/100に減税。
- 1 市立五所川原第二中学校、第三中学校発足。
- 6 「五所川原南部土地改良区」設立。
6. 1 「国連青少年の家」開所式。
- 10 65歳以上のお年寄りに「交通安全の杖」おくる。
- 16 「りんご黒星病」異常発生、被害面積737ha。
- 20～市サイクリング協会（成田不二雄会長）
- 25 沖縄を訪問し交歓ラリーを行なう。
7. 1 「市立郷土館」開設。
- 3 「お母さん教室」開級。
- 3 「老人憩の家」開館（市内下平井町）
- 16 商店街発展方向をさぐる「市広域商業診断」始まる。
- 24 「市褒賞制度」制定。
9. 2 市立五所川原中央小学校落成。
- 3 「第1回ヤングフィスティバル」開催
新形式の歩行者天国として注目される。



若者の祭典スタート

- 16 伝統ある津軽人形芝居「金多豆蔵」の主宰者木村幸八氏市の無形文化財に指定。

金多豆蔵



10. 10 「第1回市スポーツ功労賞」越谷吉助氏（弓道）、伊藤金作氏（卓球）受賞。
11. 3 「第1回市文化褒賞」増田恒一氏、伊藤正規氏「第1回市褒賞」外崎千代吉氏、荒谷勝太郎氏、真藤ひでさん受賞。夫人には内助功労賞おくる。



第1回市褒賞文化褒賞受賞者

- 15 西北五初の横断歩道橋「ポプラの橋」完成。



ポプラの橋

- 21 五所川原米宣伝のため函館市で「五所川原米試食会」開く。

〔昭和48年〕

1. 18 「広域商業診断報告書」まとまる。
- 26 岩木山地震について正しい知識をもってもらおうと「市民地震教室」開く。
- 29 日本工業立地センターによる「五所川原農村内陸総合調査報告書」まとまり

説明会開く。

- 2. 15 中山山脈に生息している特別天然記念物「ニホンカモシカ」市の特別保護獣に指定。
- 22 「花と緑と小鳥の市民連合」(森富夫会長)発足。
- 24 岩木地震を想定し市内一円で大がかりな防災訓練実施。



総合防災対策本部

- 3. 8 第6回市長選。佐々木榮造当選。
- 31 五所川原市上水道第2次、第3次拡張工事竣工。
- 4. 1 国民健康保険被保険者妊産婦10割給付実施。
- 1 水利地益税を廃止し都市計画税新設。
- 5. 1 「緑の奉仕員制度」制定。
- 6. 12 市民文化会館開館10周年を記念し青年会議所と共催で文芸春秋「文化講演会」開催。
- 24 「りんご斑点落葉病」異常発生。被害面積270 ha。
- 30 市立高等看護学院(看護婦寮併設)着工。
- 7. 1 市立五所川原小学校創立100周年記念式典。
- 10 異常干ばつのため「五所川原市異常渇水対策本部」設置。水稻被害面積3.719 ha。
- 8. 1 「原子下溜池遺跡」発掘調査始まる。
- 9. 11 「五所川原市広域新農業センター」管理棟完成し開所式。

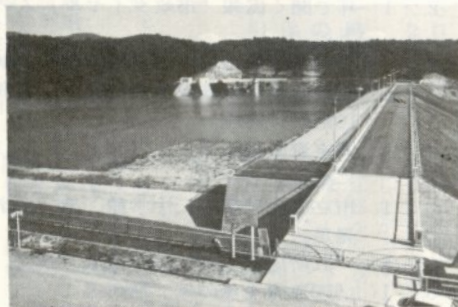


管理棟



発掘現場

- 9. 14 「飯詰ダム」竣工。



飯詰ダム全景

- 21 「五所川原北部土地改良区」設立。
- 10. 4 津軽東芝音響機設立。
- 8 県立五所川原高校創立45周年記念を兼ね校舎新築落成式。
- 10 「第2回市スポーツ賞」飛島直吉氏(サイクリング)、秋元久吉氏(ソフトボール)、堀内貞三氏(剣道)受賞。
- 16 「湊大橋」(延長370m)が完成しテープカット。



湊大橋渡り初め式

- 16 五所川原市都市計画審議会(村上純一会長)市から諮問された都市計画法改正に伴う新用途地域の線引き承認。
- 11. 3 「第2回市文化褒賞」秋元省三氏、泉潤太郎氏、江渡哲哉氏、「第2回市褒賞」工藤直蔵氏、小栗山作太郎氏、仙庭栄八氏、三上克比氏受賞。夫人には内助功労賞おくる。



第2回市褒賞文化褒賞受賞者

28 農免道路飯詰～沖飯詰間（延長2,600m）着工。

12. 25 都市計画用途地域、準防火区域の変更。

〔昭和49年〕

1. 21 株式会社立入電子工業所五所川原工場操業開始。

2. 16 「岩木川河川公園連絡協議会」発足。

3. 8 仙台通商産業局による「津軽北部農村地域工業開発拠点調査報告書」まとまる。

27 市立高等看護学院（看護婦寮併設）竣工。



高等看護学院

4. 1 国民健康保険被保険者高額療養費支給制度実施。

1 固定資産税税率1.7/100から1.65/100に減税。

1 都市計画税の課税対象区域拡大。

20 昭和52年青森国体会場予定沿線町内に梅、桜の苗木各500本ずつ配布。

23 五所川原公共下水道事業国庫補助事業として新規採択。

5. 14 初代市長外崎千代吉氏逝去。

20 県立五所川原農林高校校舎完成し授業開始。

23 五所川原市都市計画審議会（村上純一会長）市から諮問された公共下水道の着手決定原案どおり承認。

31 河川公園起工式岩木川原の河川敷で行なう。

31 「国体準備委員会」発足。

6. 17 五所川原市公共下水道の着手決定が青森県都市計画地方審議会を経て正式決定。

30 市広域新農業センターに「ちびっこ農園」開園。

7. 1 西北五地域広域市町村圏協議会（会長佐々木五所川原市長）新学園都市構想にもとづき大学誘致にのり出す。

8. 3 「第1回東北中学校ソフトボール選手権」北斗グラウンドで開催。

8. 6 五所川原地区消防事務組合消防庁舎竣工。



消防会館

8. 9 「第23回青森県社会福祉大会」当市で開催。

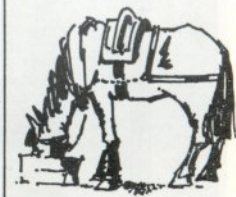
17～ 「第10回東北サイクリングラリー」当市で開催。

9. 6 「第12回青森県学校給食研究協議大会」当市で開催。

10 市立五所川原第二中学校（七和中、長橋中の統合）落成式。



ねんきん



住民税は課せられないことになりました。
一時金の額の引き上げ
保険料の額の引き上げに

親子で農業者年金に加入しましょう

農業者年金、だより

(前号から)
離農給付金の額が大幅に引き上げられました

年金給付水準の引き上げにともない、離農給付金の額も二・二倍に引き上げられました。三十五万円が七十七万円に、十五万円が三十三万円になりました。
支給する対象者の範囲も広げられ、これまでは、農地等の所有権を第三者に移転して離農した場合のみ支給の対象となっていたのが、新たに第三者に対する使用収益権の設定により離農した場合にも支給されることになりました。

ともなう、脱退一時金と死亡一時金の額が二・二倍に引き上げられることになりました。保険料納付済期間三年以上四年未満の場合三万円が六万六千円に、五年以上六年未満の場合五万円が十一万円に

この場合の使用収益権の設定は十年以上の存続期間を有するものに限り、離農給付金は一時所得として、租税の対象となっておりませんが、死亡一時金と同様に支給された金額を標準として租税所得税、

するために、この期間の保険料の納付ができることになりました。
したがって、大正五年一月二日から大正七年一月一日までに生まれた被保険者の時効によって消滅している期間、昭和四十六年と昭和四十七年の二カ年間に付いて保険料が納付することのできるようになりました。
以上のほか、昭和五十年一月一日前に農業者年金の被保険者であった者が出稼ぎ等にでていたため、年金に再加入することができなくなった人々を救済する措置もとられることになりました。

国民年金のかけ金は、二年をすぎると時効になり、納めたくとも納めることができないことになりました。
みなさんのなかには、国民年金のかけ金を何かの事情で長い間納めなかつたため、すでに時効にかかっている期間があり、とくに昭和五年四月以前に生まれた人は未納期間が四年以上ありますと老齢年金がうけられませんが、このような人々にも、年金をうけられる権利を確保する機会を与えるため、

国民年金

時効になったかけ金

納めることができます

保する機会を与えるため、とし一月からすでに時効になっている期間の古いかけ金を特別に納めることができるようになりました。
時効になったかけ金を納められる人は、現在国民年金に加入している人はもちろん、過去に加入していたが現在は加入していない人もふくまれます。
また、国民年金に当然加入することになっていないが、加入の手続きをしていない人が、これから加入の手続きをしたときには納めることができます。
手続をしたときには納めることができます。
しかし、すでに国民年金をうける権利がある人や、国民年金に任意加入している期間については、かけ金を納めることはできません。
かけ金は、ひと月につき九百円で、明年十二月三十一日まで、未納期間の古い月分から順次納めたい人は、市の国民年金係にお願いしてください。
(国民年金係)

小企業の経営改善資金を融資

融資の対象と条件

常時雇用者が商業、サービス業にあってはふたり以下製造業その他は5人以下の小企業者であること。

融資の条件は

- ①最近一年以上同一会議所の地区内で事業をおこなっていること。
- ②所得税、事業税、住民税(均等割を含む)を完納している者

融資の限度

融資の限度は200万円(ただし、運転資金は50万円)とし、設備資金と運転資金の合計の限度は200万円。100万円をこえる設備資金については、設備の見積書を添付すること。

融資の期間

2年以内(ただし、100万円をこえる設備資金については2年をこえ、3年以内とすることができる)

無担保、無保証人

金利 年 7%

申込み先 五所川原商工会議所電話 ⑤ 2121番

ことしは、外国人登録法により、登録証明書のきりかえをする年にあたります。
登録証明書のきりかえは、新記録の日、または前回(昭和四十六年)に確認を受けた日から、満三年を経過する日の前(昭和四十六年)に確認を一通り受け、きりかえを忘れず、十日以内に申請しなければなりません。
今回該当する方は、市窓口サービス課(内線二七七番)へ本人が出頭のうえ手続きを新しい外国人登録

証明書の交付を受けてください。
手続に必要なもの
◎いままでの外国人登録証明書
◎旅券、印鑑
◎十四歳以上の方は写真(提出日前六カ月以内)に無帽で撮影した五センチ正方形で、正面、上半身のもの。裏面に氏名、生年月日を入れてください。



市老人福祉大会開く

歳をとったと思うな

五所川原市老人福祉大会は、九月十一日市民文化会館におよそ五百人のおとしよりが参加しておこなわれ、

いさつし新宮町川村ア子ら二十三人の満八十八歳の米寿者に顕彰状と記念品を贈りました。また、長年

大会では、物故者に対し黙とうをしたあと、佐々木市長が「知識と経験を生かして社会に参加しよう」とあ

なたきりのおとしよりを介護している平和町の石川とめ子さんら八人を表彰しました。

大会ではまた、県立青年

の家所長須郷信夫氏が、「人生」と題して記念講演し、おとしよりに感謝を与え、

満八十八歳の米寿者

- 川村ア子(新宮町) 平山あね(布屋町) 上田しげ(本町) 大村キン(中平井町)
- 成田蔵五郎、佐々木キワ(以上幾世森) 栗島ヤイ(川端町) 三橋作助(松島町)
- 佐々木ソソ(石岡) 今さく(金山) 平山源次郎、平山きえ(以上湊)
- 渋谷弥作、木村いさ(以上高瀬) 乗田はる(藻川)
- 石岡いよ(野里) 片岡勇吉、工藤才助(以上松野木) 楠美たみ(高野) 大久保スナ
- 長峰キヨ、三浦まつ、中道顕成(以上飯詰)

ねたきり老人介護者

石川とめ子(平和町) 成田スエ(神山) 乗田ステコ(上藻川) 阿部カネ(原)

大坂キヌエ(前田野目) 木村きく系(漆川) 山口いそ(唐笠柳) 木村ヤサ(高瀬)

(敬称略)

市政ダイヤル

その日の行事や予定は



⑤4321

出稼者の心得

(その5)



△何かおきたとき、ケガとか事故がおきたら、事業所の責任者に労災保険の手続き、または証明書を書いてもらうよう

血圧の高い人は要注意

いろいろの補償の請求書は、働いているところの監督署に出すように。

に。脳卒中は仕事中でも、だいたいは労災保険はききません。血圧のたかい人はとくに注意するように。そのことをなるべく早く県外事務所に知らせるようある監督署に知らせるように。県外事務所の係の人が何かとセワをしてくれま

そのとき使った印(はんこ)は、お金をとる時など後で使うのでなくさないように。家に備ってからでなく、その働いているところで手続きをするようにしよう。

ケガなどで入院している場合は、もし病院をかえるときは、自分の働いた事業所の責任者に証明を書いてもらおうように。これをやらなると補償金をとれなくなる

たい肥生産共助会

締切り 十一月十五日

市では、四十九年度の堆肥生産共助会をおこないましたので、参加される農家は十一月十五日まで市農林課にお申し込みください。(用紙は同課にあります)

審査は、十二月上旬(積雪により変更あり)におこないます。審査は、水田の耕作面積、たい肥盤、被覆の有無、積込量、腐熟の程度などを対象とします。

補助金交付申請書、事業計画書、収支予算書を市農林課に提出してください。

行政相談委員が相談に応じますのでおいでください。

行政相談週間

十月十三日(日)～十月十九日(土)まで

行政に対する苦情、要望などがありましたら左記へお気軽にご相談ください。

行政相談委員 坂本其作
市内姥苧字桜木、電話(三〇四八)

青森行政監察局 青森市青柳一(一七)一、電話・青森(三三三五四)五

十月十五日(火)市相談室(生活環境課内)において

ねたきり老人ホーム「青山荘」を増築

市内金山字盛山にある社会福祉法人の特別養護老人ホーム「青山荘」は西北五をはじめ中弘南などから入所し、五十人定員居室がいつも満員であり、入所したくとも入所できぬ方がたくさんあります。

このような実状から施設を増築(二十四床)することになり、ことし十一月には完成し、入所できる見込みとなりました。入所を希望するおとしよりは、市福祉事務所か、直接「青山荘」へご相談してください。

秋季狂犬病予防注射と登録のおしらせ

10 湊団地集会所 9:30~10:30	10 共栄集会所 9:30~9:50
11 焼菟神社前 10:40~11:00	17 長富集会所 10:00~10:30
⑨ 稲実屯所 11:10~11:30	⑩ 毘沙門支所 10:40~11:10
広田農協前 11:40~12:10	桜田屯所前 11:20~11:40
七ツ館(工藤トコヤ前) 13:00~13:30	沖飯詰集会所 11:50~12:10
浅井(一戸商店) 13:40~14:10	中川支所 13:00~13:30
福山集会所 14:20~14:50	種井集会所 13:40~14:10
豊成(石岡源造) 15:00~15:40	福井集会所 14:20~14:30
10 野里(前田商店前) 9:30~10:10	小曲集会所 14:50~15:20
14 神山(松野商店前) 10:30~10:50	10 下藻川屯所前 9:30~10:10
ノ木(三上商店前) 11:00~11:20	18 上藻川農協倉庫 10:20~10:50
福岡(佐々木商店前) 11:30~11:50	⑩ 鶴ヶ岡(三好支所) 11:00~11:40
若山(石岡治男宅) 12:40~13:10	高瀬集会所 12:30~13:00
石田坂集会所 13:15~13:35	田川(奈良商店前) 13:10~13:30
戸沢集会所 13:50~14:10	新宮集会所 13:40~14:10
朝日集会所 14:20~14:40	新宮団地(集会所) 14:20~15:20
岩崎集会所 15:00~15:30	10 俵元(警鐘台下) 9:30~10:00
10 飯詰支所 9:30~10:10	21 原 子(旧検問所跡) 10:10~11:10
15 ⑩ 平町入口 10:50~11:10	⑩ 前田ノ目(西塚商店前) 11:10~11:40
大開入口 11:20~11:40	派立(新谷哲一宅) 12:30~12:50
金山児童館 11:50~13:00	高野(神社前) 13:00~13:50
水野尾集会所 13:10~13:40	10 梅田上(成田トコヤ前) 10:00~10:20
米田(精米所) 13:50~14:10	22 梅田中(梅沢支所) 10:30~10:50
唐笠柳(小山西与宅) 14:20~14:40	⑩ 梅田下(教門寺前) 11:00~11:20
吹畑支所 14:45~15:10	中泉集会所 11:30~12:00
10 太刀打(山形豊太郎) 9:30~9:50	羽野木沢支所 13:00~13:40
の坪(対馬静堅宅) 10:10~10:20	持子沢(小笠原商店) 13:50~14:10
中村(小野千代蔵) 10:30~10:50	10 石岡寺田精米所 9:30~10:00
馬性(対馬堅一) 11:00~11:30	23 松島団地(松島ストア前) 10:10~11:00
悪戸(高橋商店) 11:40~12:00	⑩ 〃(8丁目バス停) 11:00~12:00
宮田(渋谷六郎) 12:50~13:10	〃(管理事務所) 13:00~14:00
川代田(外崎嘉四太郎) 13:15~13:35	10 平和町集会所 9:30~11:00
漆川(神社前) 13:40~14:00	24 西北教育事務所 11:10~12:00
十川町(吉村商店) 14:10~14:30	⑩ 三 道 会 館 13:00~15:00
尻無(農協前) 14:40~15:00	10 下平井町老人ホーム前 9:30~10:20
桃崎(バス停前) 15:10~15:30	25 敷島町分院前 10:30~11:30
	⑩ 旧消防署前 13:00~14:10
	保健所前 14:30~16:10

市長日記

ひろゆき
あき
あき
あき

九月十一日
(水)晴
一、三日来
の大雨も晴れ
あがった快晴
きょうは「敬
老の日」にち
なんだ老人福
祉大会の日である。
九時、市民文化会館ホー
ルは、おとしよりたちが例
年になく大勢あつまり、し
かもはればれとした顔でい
つばい。
ことにことしは、八十八
歳の米寿の祝を迎えられた
方々が昨年より十八多く、
二十三人の方々に顕彰状に
記念品を添えてお祝いした
が、なかにも保育所の可愛
い子どもたちから花束が贈
られたことはとくに印象的
であった。

さきごろ発表された日本
人の平均寿命が、男七〇・
七〇歳、女七六・〇二歳に
なり、世界の最長寿国にな
るのもまもなくだろう。
五所川原市における六十
五歳以上の総人口に占める
推移も、四十五年度が五・
九%、四十六年度が六・一
%、四十七年度が六・九%
四十八年度七・二%、四十
九年度七・五%と上昇をつ
づけている。
ことしの六十五歳以上の

方々は昨年より百二十人多
い約四千人で、そのうち八
十歳以上が四百七十八人に
ぼつている。
市では七十五歳以上の方
々一千二百人をご招待した
が、ただいろいろな事情で
このような行事に参加でき
ない方々に思いをよせさせ
ることしこそは四十人のね
たきりの老人宅をひとりひ
とりお見舞いしたいと思う。
老人福祉施設として、老
人ホーム、ホームヘルパー
寝具の乾燥消毒、寝台、マ

ットレスの支給、長寿褒彰
金支給、安全杖の支給、健
康診査、みどりの奉仕員制
度……と多くの施策を真
施しているけれども、長い
人生の道のりを越えて市の
発展につくされたおとしよ
りたちのしあわせのために
まだまだ多くのことをやら
ねばと痛感した。

第七回市民 サイクリング ラリー

▽とき 十月十日(体育
の日)
▽集合 午前八時半まで
市庁舎前「おまつり広場」
▽行先 西の高野山(弘
法寺)木造町吹原。
▽行事 おはようサイク
リングの表彰式、ゲーム大
会(賞品があります)
昼食、手ぶくろ、手ぬぐ
い、ぼうしは各自ご持参願
います。小学校四年以上の
健康な老若男女はだれでも
参加できます。参加料は不
要です。
なお、当日小雨のときは
決行し、雨天の場合は十月
十三日(日)に延期されま
す。

四十九年度後期 技能検定

▽職種 時計修理、紳士
服製造、和裁など。
▽試験 実技と学科試験
があります。
▽受付期間 十月十四日
(月)まで申請書を提出し
てください。
▽書類の提出先 青森市
大字野尻字今田四三(一)
県立青森高等職業訓練校内
(一)、青森県技能検定協会へ
電話 青森〇一七七(五五
六一番)
なお詳しくは、市出稼対
策室にお問い合わせくださ
い。